

私立幼稚園と新制度

平成28年2月

佐賀市教育委員会こども教育部保育幼稚園課

市政概要

1 市町村合併

平成17年10月1日：佐賀市、諸富町、大和町、富士町、三瀬村が合併

平成19年10月1日：佐賀市、川副町、東与賀町、久保田町が合併

2 人口、世帯数

[人口] 235,534人(男：110,969人、女：124,565人)

[世帯数] 97,421世帯

平成27年12月末現在(外国人を含む)

3 概要

新しい佐賀市は、脊振山系の山ろく部の山林や清流、古代肥前の国の行政府跡「肥前国庁」、中心部の長崎街道に代表される歴史遺産や佐賀城公園、日本の近代化を先導した“幕末維新期の佐賀”の魅力を紹介している佐賀城本丸歴史館、筑後川にかかる昇開橋や佐賀平野に広がるクリークや田園風景、豊饒の海といわれる“有明海”など素晴らしい環境に恵まれています。

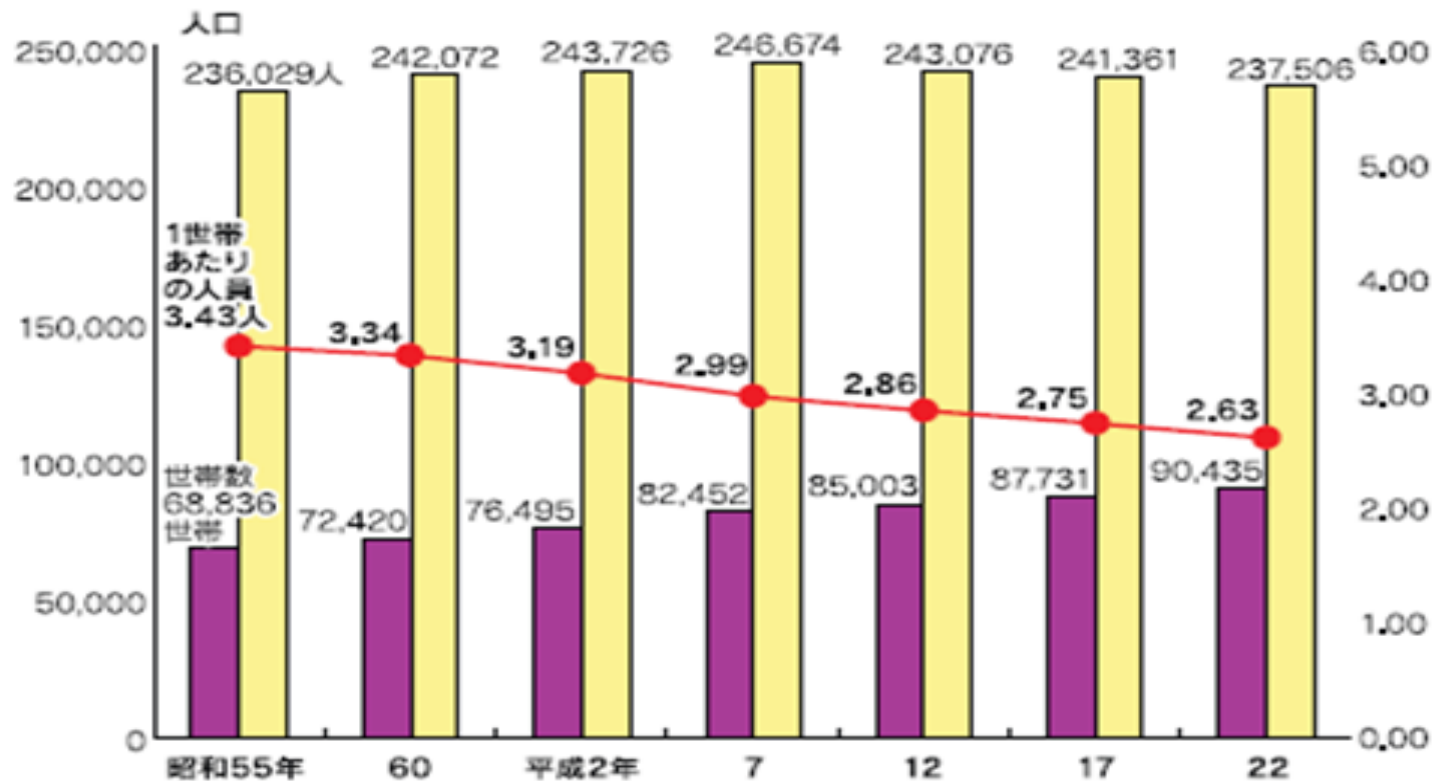
特に観光面においては、山間部にある観光りんご園、温泉、スキー場、また沿岸部における干潟の個性的な動植物など、多様な魅力を備えるまちとなりました。

人口の推移

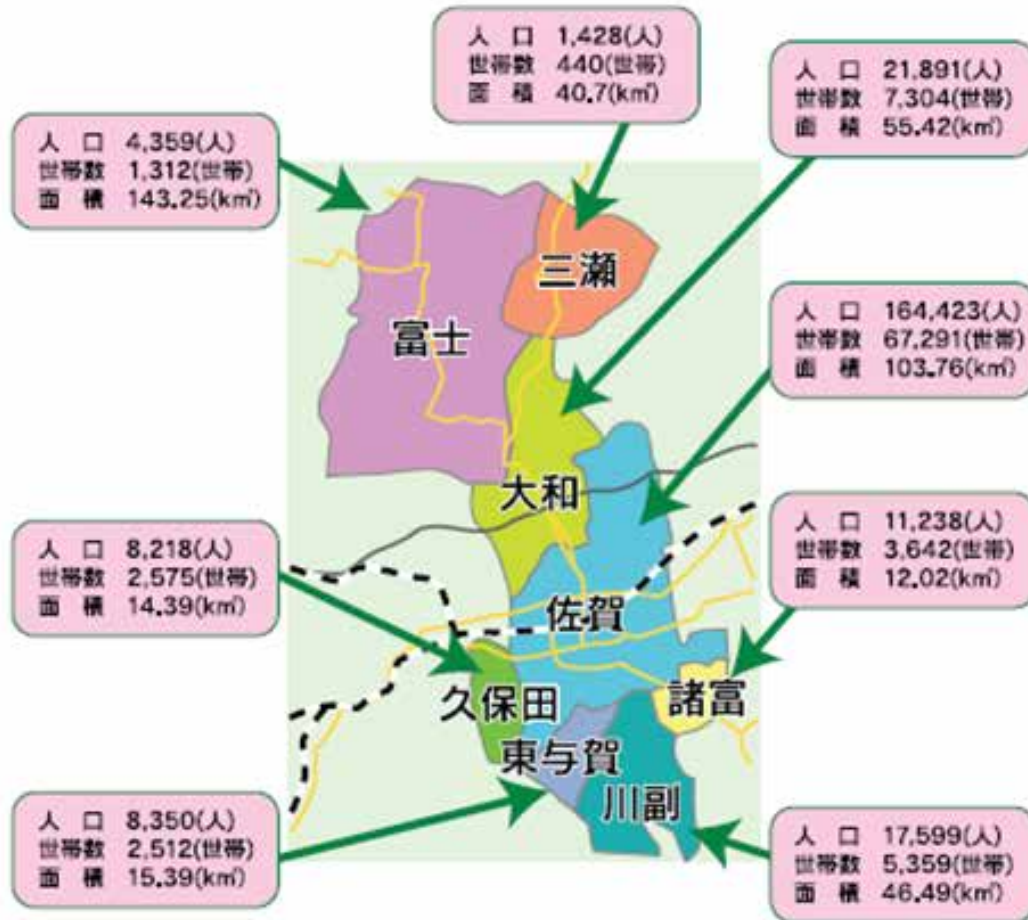
●人口・世帯数の推移

[核家族化すすむ]

1世帯あたり人員が昭和55年の3.43人から2.63人に減少し、核家族化がすすんでいる。



●旧市町村別人口・世帯数・面積

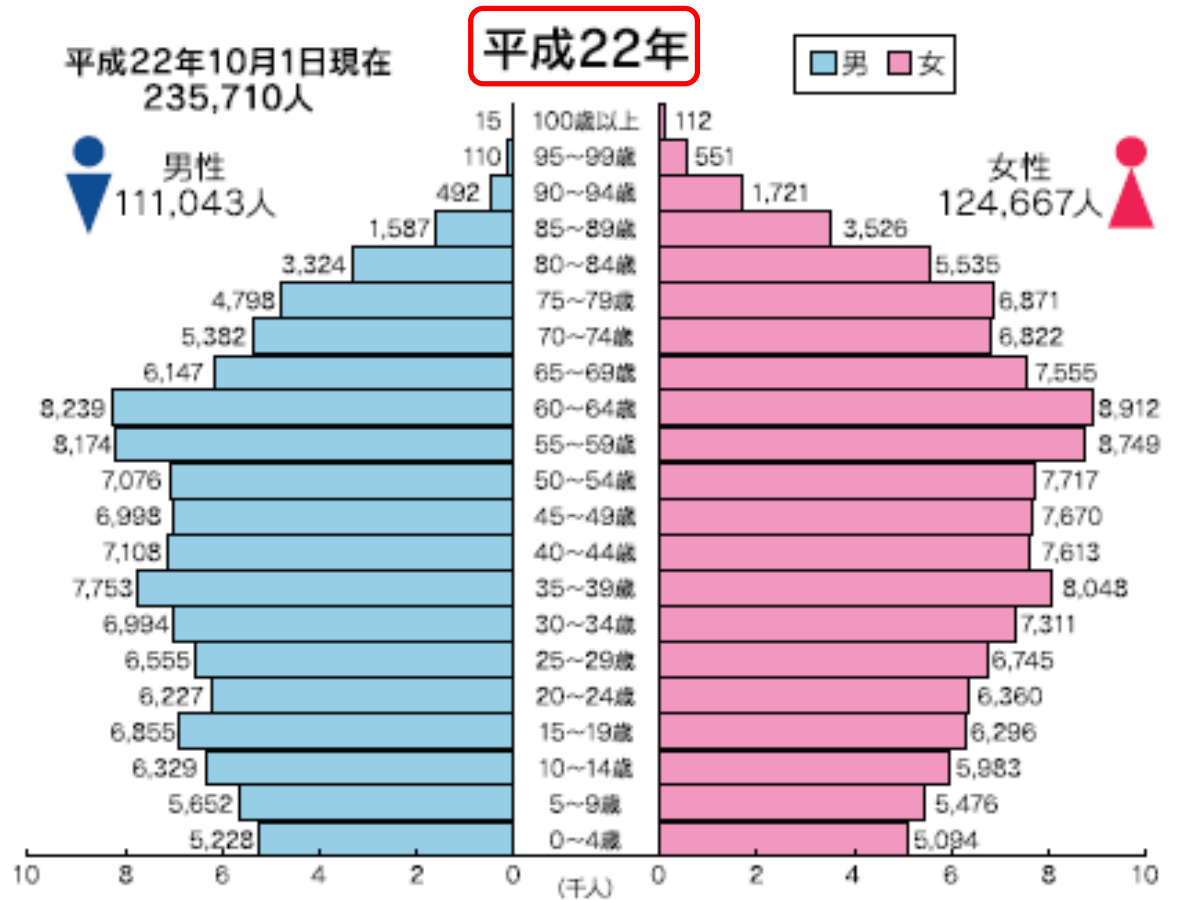
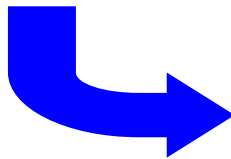
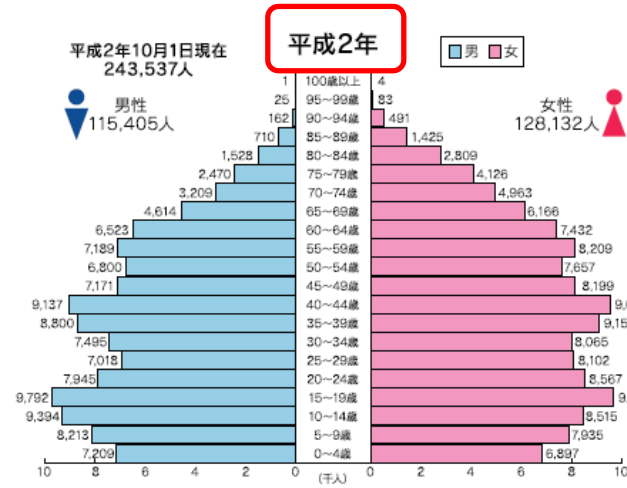


資料:総務省「国勢調査」

面積は国土交通省国土地理院の「全国都道府県市区町村別面積調」

人口ピラミッド

平成2年と平成22年の比較



保育・教育施設（公立・私立）の状況

平成27年10月1日現在

種別	施設数	在籍児童数
保育所	38園	4,194名
認定こども園	22園	3,479名
地域型保育	9園	91名
幼稚園（施設型給付）	3園	133名
幼稚園（私学助成等）	17園	1,372名

幼稚園(私学助成等)の在籍児童数のみ平成27年5月1日現在

私立幼稚園の近年の状況

	幼保 連携型	幼稚園型	保育所型	幼稚園
平成19年4月	1園			32園
平成19年10月 市町村合併				
平成20年4月	2園	2園		36園
平成21年4月	2園	4園		33園
平成22年4月	2園	9園		29園
平成23年4月	2園	11園		27園
平成24年4月	2園	14園		23園
平成25年4月	2園	16園		21園
平成26年4月	3園	17園		19園
平成27年4月	12園	9園	1園	16園（私学助成） 2園（施設型給付）

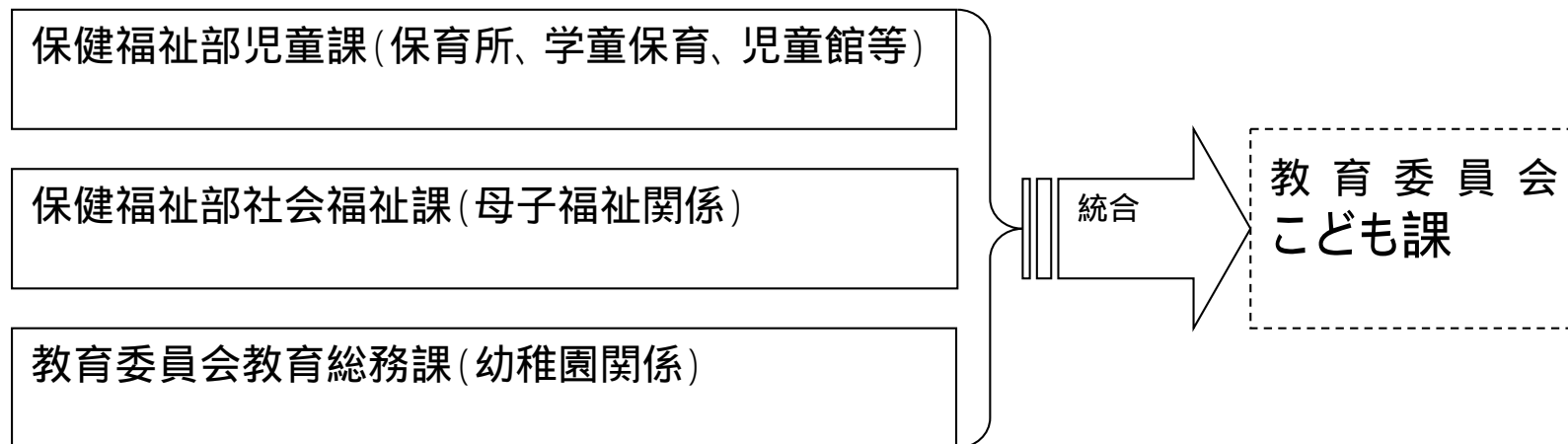
新制度開始に至るまでの組織体制

児童福祉分野の教育委員会への移管（幼保部局の一元化）

市民の目線から組織・機構を考えた場合、出生から義務教育までに子どもに関係する課は、数課に及び、また同じ幼児であっても、保育所か幼稚園かで担当課が変わってしまうなど、市民にとってわかりづらい組織・機構であるのが現状でした。

これらを一つのセクションに一元化することで、市民の利便を向上させるとともに、市民にとってわかりやすい組織となるのではないかという発想から就学前児童を所管する『こども課』を創設しました。（平成15年4月）

市長事務部部局保健福祉部の2課と教育委員会の1課で所管する事務を統合しました。



新制度開始に至るまでの組織体制

その後の機構改革

平成15年 4月 こども課創設

平成17年10月 市町村合併

平成19年10月 市町村合併

母子福祉関係事務を市長事務部局に移管

平成25年 4月 「こども課」を

「保育幼稚園課」と「こども家庭課」に分割

増大する市民からのニーズや制度改革に迅速に対応できるように、各部署でより専門的に業務を推進することとしました

「保育幼稚園課」：保育所、幼稚園、子育て支援事業を所管

「こども家庭課」：児童クラブ、児童館、要保護児童などを所管

地方版子ども・子育て会議や事業計画は、保育幼稚園課が中心となり協力して実施

子育て関係部署

